



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和8年度

広域農業基盤整備管理調査

諫早湾地区観測槽劣化状況調査設計業務

積 算 書

(当初)

九州農政局
北部九州土地改良調査管理事務所

九州農政局

九州農政局

九州農政局

九州農政局

九州農政局

九州農政局

事業名	広域農業基盤整備管理調査
業務名	諫早湾地区観測槽劣化状況調査設計業務

名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
直接人件費				15,675,000	
・直接人件費	1.000	式		15,675,000	
・ ・ 直接人件費	1.000	式		15,675,000	
・ ・ ・ 設計作業費 水質観測施設	1.000	式	6,950,000	6,950,000	1 式当たり
S63003 1-1.作業計画の作成 0.00人,0.00人,1.00人,2.00人,2.00人,2.00人,0.00人	1.000	式	379,700	379,700	歩A・単A S単 12号
S63003 1-2.資料の検討 0.00人,0.00人,1.00人,4.00人,4.00人,4.00人,2.00人	1.000	式	761,900	761,900	歩A・単A S単 13号
S63003 2-1.劣化状況調査計画書の作成 0.00人,0.00人,1.00人,2.00人,2.00人,1.00人,0.00人	1.000	式	337,200	337,200	歩A・単A S単 14号
S63007 2-2.劣化状況調査 (目視調査) 0.00人,0.00人,0.00人,3.00人,3.00人,3.00人,0.00人	1.000	式	463,200	463,200	歩A・単A S単 24号
S63003 2-3.現地調査結果整理・考察 0.00人,0.00人,1.00人,6.00人,4.00人,2.00人	1.000	式	985,700	985,700	歩A・単A S単 15号
S63003 3-1.事例収集、情報整理 0.00人,0.00人,1.00人,6.00人,6.00人,2.00人,2.00人	1.000	式	900,700	900,700	歩A・単A S単 16号
S63003 3-2.基本事項の検討 0.00人,0.00人,1.00人,6.00人,6.00人,2.00人,2.00人	1.000	式	900,700	900,700	歩A・単A S単 17号
S63003 4.数量計算 0.00人,0.00人,1.00人,4.00人,4.00人,2.00人,0.00人	1.000	式	603,500	603,500	歩A・単A S単 18号
S63003 5.施工計画 0.00人,0.00人,1.00人,4.00人,4.00人,1.00人,0.00人	1.000	式	561,000	561,000	歩A・単A S単 19号
S63003 6.概算工事費算定 0.00人,0.00人,1.00人,4.00人,4.00人,0.00人,0.00人	1.000	式	518,500	518,500	歩A・単A S単 20号
S63003 7.点検取りまとめ 0.00人,0.00人,1.00人,2.00人,2.00人,4.00人,2.00人	1.000	式	538,100	538,100	歩A・単A S単 21号
合 計				6,950,200	
・ ・ ・ 設計作業費 観測槽	1.000	式	6,959,000	6,959,000	1 式当たり
S63003 1-1.作業計画の作成 0.00人,0.00人,1.00人,2.00人,2.00人,2.00人,0.00人	1.000	式	379,700	379,700	歩A・単A S単 12号
S63003 1-2.資料の検討 0.00人,0.00人,1.00人,4.00人,4.00人,4.00人,2.00人	1.000	式	761,900	761,900	歩A・単A S単 13号
S63003 2-1.劣化状況調査計画書の作成 0.00人,0.00人,1.00人,2.00人,2.00人,1.00人,0.00人	1.000	式	337,200	337,200	歩A・単A S単 14号
T00006 2-2.詳細現地調査	7.000	基	403,840	2,826,880	歩A・単A T単 5号
S63003 2-3.現地調査結果整理・考察 0.00人,0.00人,2.00人,8.00人,12.00人,12.00人,4.00人	1.000	式	1,891,000	1,891,000	歩A・単A S単 22号
S63003 3.点検取りまとめ 0.00人,0.00人,1.00人,4.00人,4.00人,4.00人,2.00人	1.000	式	761,900	761,900	歩A・単A S単 23号
合 計				6,958,580	
・ ・ ・ 打合せ (設計)	1.000	式	525,000	525,000	1 式当たり
S63010 打合せ (設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.57日	2.000	回	142,845	285,690	歩A・単A S単 27号
S63010 打合せ (設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.57日	2.000	回	119,733	239,466	歩A・単A S単 28号
合 計				525,156	
・ ・ ・ 移動に伴う基準日額 (現地調査時)	1.000	式	1,080,000	1,080,000	1 式当たり
S63007 移動に伴う基準日額 (水質観測施設現地調査時) 0.00人,0.00人,0.00人,2.00人,2.00人,2.00人,0.00人	1.000	式	308,800	308,800	歩A・単A S単 25号
S63007 移動に伴う基準日額 (観測槽現地調査時) 0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,6.00人,6.00人,6.00人	1.000	式	771,000	771,000	歩A・単A S単 26号
合 計				1,079,800	
・ ・ ・ 用船使用料 (水質観測施設現地調査)	1.000	式	161,000	161,000	1 式当たり
T00004 用船使用料 (海域) FRP D 70PS型 3.0t 51kW 就業8時間	2.000	日	55,035	110,070	歩A・単A T単 3号
T00005 用船使用料 (調整池) 鋼 D 30PS型 3.0t 22kW 就業8時間	1.000	日	50,513	50,513	歩A・単A T単 4号
合 計				160,583	

九州農政局

事業名	広域農業基盤整備管理調査
業務名	諫早湾地区観測槽劣化状況調査設計業務

コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
S02111	*** S単一 1号 *** 交通船[FRP製] (運転損料) 交通船[FRP製] (運転損料) D 70PS型 3.0GT		日	3,210		歩A・単A
S02111	*** S単一 2号 *** 交通船[FRP製] (供用損料) 交通船[FRP製] (供用損料) D 70PS型 3.0GT		日	3,360		歩A・単A
S02111	*** S単一 3号 *** 交通船[鋼製] (運転損料) 交通船[鋼製] (運転損料) D 30PS型 3.0GT		日	2,520		歩A・単A
S02111	*** S単一 4号 *** 交通船[鋼製] (供用損料) 交通船[鋼製] (供用損料) D 30PS型 3.0GT		日	2,590		歩A・単A
S02115	*** S単一 5号 *** 技師 (B) 技師 (B)		人	49,300		歩A・単A
S02115	*** S単一 6号 *** 技師 (C) 技師 (C)		人	42,500		歩A・単A
S02115	*** S単一 7号 *** 技術員 技術員		人	36,700		歩A・単A
S02115	*** S単一 8号 *** 潜水土 潜水土		人	46,800		歩A・単A
S02115	*** S単一 9号 *** 潜水送気員 潜水送気員		人	30,300		歩A・単A
S02115	*** S単一 10号 *** 高級船員 高級船員		人	34,800		歩A・単A
S02115	*** S単一 11号 *** 技術員 技術員		人	36,700		歩A・単A
S63003	*** S単一 12号 *** 1-1.作業計画の作成 設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,2.00人,2.00人,2.00人,0.00人		式	379,700		歩A・単A
S63003	*** S単一 13号 *** 1-2.資料の検討 設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,4.00人,4.00人,4.00人,2.00人		式	761,900		歩A・単A
S63003	*** S単一 14号 *** 2-1.劣化状況調査計画書の作成 設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,2.00人,2.00人,1.00人,0.00人		式	337,200		歩A・単A
S63003	*** S単一 15号 *** 2-3.現地調査結果整理・考察 設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,6.00人,6.00人,4.00人,2.00人		式	985,700		歩A・単A
S63003	*** S単一 16号 *** 3-1.事例収集、情報整理 設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,6.00人,6.00人,2.00人,2.00人		式	900,700		歩A・単A
S63003	*** S単一 17号 *** 3-2.基本事項の検討 設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,6.00人,6.00人,2.00人,2.00人		式	900,700		歩A・単A
S63003	*** S単一 18号 *** 4.数量計算 設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,4.00人,4.00人,2.00人,0.00人		式	603,500		歩A・単A
S63003	*** S単一 19号 *** 5.施工計画 設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,4.00人,4.00人,1.00人,0.00人		式	561,000		歩A・単A
S63003	*** S単一 20号 *** 6.概算工事費算定 設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,4.00人,4.00人,0.00人,0.00人		式	518,500		歩A・単A
S63003	*** S単一 21号 *** 7.点検取りまとめ 設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,2.00人,2.00人,4.00人,2.00人		式	538,100		歩A・単A
S63003	*** S単一 22号 *** 2-3.現地調査結果整理・考察					

[illegible]

事業名	広域農業基盤整備管理調査
業務名	諫早湾地区観測槽劣化状況調査設計業務

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S単一 1号 ***					
S02111	交通船[FRP製] (運転損料)		日		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	交通船[FRP製] (運転損料) D 70PS型 3.0GT			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)機械器具損料コード 2)機械器具規格 3)単価の入力	M96001 D 70PS型 3.0GT 3,210円		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
M96001	交通船[FRP製] (運転損料) D 70PS型 3.0GT	1.000	日	3,210	3,210	
	合 計				3,210	算出数量 1.000 各単位
	単 価				3,210	
	*** S単一 2号 ***					
S02111	交通船[FRP製] (供用損料)		日		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	交通船[FRP製] (供用損料) D 70PS型 3.0GT			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)機械器具損料コード 2)機械器具規格 3)単価の入力	M96002 D 70PS型 3.0GT 3,360円		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
M96002	交通船[FRP製] (供用損料) D 70PS型 3.0GT	1.000	日	3,360	3,360	
	合 計				3,360	算出数量 1.000 各単位
	単 価				3,360	
	*** S単一 3号 ***					
S02111	交通船[鋼製] (運転損料)		日		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	交通船[鋼製] (運転損料) D 30PS型 3.0GT			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)機械器具損料コード 2)機械器具規格 3)単価の入力	M96003 D 30PS型 3.0GT 2,520円		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
M96003	交通船[鋼製] (運転損料) D 30PS型 3.0GT	1.000	日	2,520	2,520	
	合 計				2,520	算出数量 1.000 各単位
	単 価				2,520	
	*** S単一 4号 ***					
S02111	交通船[鋼製] (供用損料)		日		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	交通船[鋼製] (供用損料) D 30PS型 3.0GT			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)機械器具損料コード 2)機械器具規格 3)単価の入力	M96004 D 30PS型 3.0GT 2,590円		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
M96004	交通船[鋼製] (供用損料) D 30PS型 3.0GT	1.000	日	2,590	2,590	
	合 計				2,590	算出数量 1.000 各単位
	単 価				2,590	
	*** S単一 5号 ***					
S02115	技師 (B)		人		1,000 人	歩A 当たり算出
	技師 (B)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R04005 基(D2)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04005	技師 (B)	1.000	人	49,300	49,300	
	合 計				49,300	算出数量 1.000 人

事業名	広域農業基盤整備管理調査				
業務名	諫早湾地区観測槽劣化状況調査設計業務				

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	単 価				49,300	
	*** S単- 6号 ***					
S02115	技師 (C)		人		1,000 人	歩A 当たり算出
	技師 (C)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R04006 基(D2)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04006	技師 (C)	1.000	人	42,500	42,500	
	合 計				42,500	算出数量 1,000 人
	単 価				42,500	
	*** S単- 7号 ***					
S02115	技術員		人		1,000 人	歩A 当たり算出
	技術員			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R04007 基(D2)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04007	技術員	1.000	人	36,700	36,700	
	合 計				36,700	算出数量 1,000 人
	単 価				36,700	
	*** S単- 8号 ***					
S02115	潜水土		人		1,000 人	歩A 当たり算出
	潜水土			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R01082 基(D2)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R01082	潜水土	1.000	人	46,800	46,800	
	合 計				46,800	算出数量 1,000 人
	単 価				46,800	
	*** S単- 9号 ***					
S02115	潜水送気員		人		1,000 人	歩A 当たり算出
	潜水送気員			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R01084 基(D2)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R01084	潜水送気員	1.000	人	30,300	30,300	
	合 計				30,300	算出数量 1,000 人
	単 価				30,300	
	*** S単- 10号 ***					
S02115	高級船員		人		1,000 人	歩A 当たり算出
	高級船員			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R01072 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	

事業名	広域農業基盤整備管理調査
業務名	諫早湾地区観測槽劣化状況調査設計業務

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
R01072	高級船員	1.000	人	34,800	34,800	
	合 計				34,800	算出数量 1.000 人
	単 価				34,800	
	*** S単一 11号 ***					
S02115	技術員		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	技術員			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R04007 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04007	技術員	1.000	人	36,700	36,700	
	合 計				36,700	算出数量 1.000 人
	単 価				36,700	
	*** S単一 12号 ***					
S63003	1-1.作業計画の作成		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,2.00人,2.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数 2)技師長的人数 3)主任技師の人数 4)技師Aの人数 5)技師Bの人数 6)技師Cの人数 7)技術員の数	0.00人 0.00人 1.00人 2.00人 2.00人 2.00人 0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04003	主任技師	1.000	人	70,900	70,900	
R04004	技師 (A)	2.000	人	62,600	125,200	
R04005	技師 (B)	2.000	人	49,300	98,600	
R04006	技師 (C)	2.000	人	42,500	85,000	
	合 計				379,700	算出数量 1.000 式
	単 価		式		379,700	
	*** S単一 13号 ***					
S63003	1-2.資料の検討		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,4.00人,4.00人,2.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数 2)技師長的人数 3)主任技師の人数 4)技師Aの人数 5)技師Bの人数 6)技師Cの人数 7)技術員の数	0.00人 0.00人 1.00人 4.00人 4.00人 4.00人 2.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04003	主任技師	1.000	人	70,900	70,900	
R04004	技師 (A)	4.000	人	62,600	250,400	
R04005	技師 (B)	4.000	人	49,300	197,200	
R04006	技師 (C)	4.000	人	42,500	170,000	
R04007	技術員	2.000	人	36,700	73,400	
	合 計				761,900	算出数量 1.000 式
	単 価		式		761,900	
	*** S単一 14号 ***					

事業名	広域農業基盤整備管理調査
業務名	諫早湾地区観測槽劣化状況調査設計業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
S63003	2-1.劣化状況調査計画書の作成		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,2.00人,1.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長的人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	1.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師					
		1,000	人	70,900	70,900	
R04004	技師 (A)					
		2,000	人	62,600	125,200	
R04005	技師 (B)					
		2,000	人	49,300	98,600	
R04006	技師 (C)					
		1,000	人	42,500	42,500	
	合 計				337,200	算出数量 1,000 式
	単 価		式		337,200	
	*** S単一 15号 ***					
S63003	2-3.現地調査結果整理・考察		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,6.00人,4.00人,2.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長的人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	6.00人				
	5)技師Bの人数	6.00人				
	6)技師Cの人数	4.00人				
	7)技術員の人数	2.00人				
R04003	主任技師					
		1,000	人	70,900	70,900	
R04004	技師 (A)					
		6,000	人	62,600	375,600	
R04005	技師 (B)					
		6,000	人	49,300	295,800	
R04006	技師 (C)					
		4,000	人	42,500	170,000	
R04007	技術員					
		2,000	人	36,700	73,400	
	合 計				985,700	算出数量 1,000 式
	単 価		式		985,700	
	*** S単一 16号 ***					
S63003	3-1.事例収集、情報整理		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,6.00人,6.00人,2.00人,2.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長的人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	6.00人				
	5)技師Bの人数	6.00人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	2.00人				
R04003	主任技師					
		1,000	人	70,900	70,900	
R04004	技師 (A)					
		6,000	人	62,600	375,600	
R04005	技師 (B)					
		6,000	人	49,300	295,800	
R04006	技師 (C)					
		2,000	人	42,500	85,000	
R04007	技術員					
		2,000	人	36,700	73,400	
	合 計				900,700	算出数量 1,000 式
	単 価		式		900,700	

事業名	広域農業基盤整備管理調査
業務名	諫早湾地区観測槽劣化状況調査設計業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単一 17号 ***					
S63003	3-2. 基本事項の検討		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,6.00人,6.00人,2.00人,2.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長的人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	6.00人				
	5)技師Bの人数	6.00人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	2.00人				
R04003	主任技師					
		1,000	人	70,900	70,900	
R04004	技師 (A)					
		6,000	人	62,600	375,600	
R04005	技師 (B)					
		6,000	人	49,300	295,800	
R04006	技師 (C)					
		2,000	人	42,500	85,000	
R04007	技術員					
		2,000	人	36,700	73,400	
	合 計				900,700	算出数量 1,000 式
	単 価		式		900,700	
	*** S単一 18号 ***					
S63003	4. 数量計算		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,4.00人,4.00人,2.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長的人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	4.00人				
	5)技師Bの人数	4.00人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師					
		1,000	人	70,900	70,900	
R04004	技師 (A)					
		4,000	人	62,600	250,400	
R04005	技師 (B)					
		4,000	人	49,300	197,200	
R04006	技師 (C)					
		2,000	人	42,500	85,000	
	合 計				603,500	算出数量 1,000 式
	単 価		式		603,500	
	*** S単一 19号 ***					
S63003	5. 施工計画		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,4.00人,4.00人,1.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長的人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	4.00人				
	5)技師Bの人数	4.00人				
	6)技師Cの人数	1.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師					
		1,000	人	70,900	70,900	
R04004	技師 (A)					
		4,000	人	62,600	250,400	
R04005	技師 (B)					
		4,000	人	49,300	197,200	
R04006	技師 (C)					
		1,000	人	42,500	42,500	
	合 計				561,000	算出数量 1,000 式
	単 価		式		561,000	

事業名	広域農業基盤整備管理調査
業務名	諫早湾地区観測槽劣化状況調査設計業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単一 20号 ***					
S63003	6.概算工事費算定		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,4.00人,4.00人,0.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	4.00人				
	5)技師Bの人数	4.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	1.000	人	70,900	70,900	
R04004	技師 (A)	4.000	人	62,600	250,400	
R04005	技師 (B)	4.000	人	49,300	197,200	
	合 計				518,500	算出数量 1.000 式
	単 価		式		518,500	
	*** S単一 21号 ***					
S63003	7.点検取りまとめ		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,2.00人,4.00人,2.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	4.00人				
	7)技術員の人数	2.00人				
R04003	主任技師	1.000	人	70,900	70,900	
R04004	技師 (A)	2.000	人	62,600	125,200	
R04005	技師 (B)	2.000	人	49,300	98,600	
R04006	技師 (C)	4.000	人	42,500	170,000	
R04007	技術員	2.000	人	36,700	73,400	
	合 計				538,100	算出数量 1.000 式
	単 価		式		538,100	
	*** S単一 22号 ***					
S63003	2-3.現地調査結果整理・考察		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,2.00人,8.00人,12.00人,12.00人,4.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	8.00人				
	5)技師Bの人数	12.00人				
	6)技師Cの人数	12.00人				
	7)技術員の人数	4.00人				
R04003	主任技師	2.000	人	70,900	141,800	
R04004	技師 (A)	8.000	人	62,600	500,800	
R04005	技師 (B)	12.000	人	49,300	591,600	
R04006	技師 (C)	12.000	人	42,500	510,000	
R04007	技術員	4.000	人	36,700	146,800	
	合 計				1,891,000	算出数量 1.000 式
	単 価		式		1,891,000	

事業名	広域農業基盤整備管理調査
業務名	諫早湾地区観測槽劣化状況調査設計業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単一 23号 ***					
S63003	3.点検取りまとめ		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,4.00人,4.00人,4.00人,2.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長的人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	4.00人				
	5)技師Bの人数	4.00人				
	6)技師Cの人数	4.00人				
	7)技術員の人数	2.00人				
R04003	主任技師					
		1,000	人	70,900	70,900	
R04004	技師 (A)					
		4,000	人	62,600	250,400	
R04005	技師 (B)					
		4,000	人	49,300	197,200	
R04006	技師 (C)					
		4,000	人	42,500	170,000	
R04007	技術員					
		2,000	人	36,700	73,400	
	合 計				761,900	算出数量 1,000 式
	単 価		式		761,900	
	*** S単一 24号 ***					
S63007	2-2.劣化状況調査(目視調査)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,0.00人,3.00人,3.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長的人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	3.00人				
	5)技師Bの人数	3.00人				
	6)技師Cの人数	3.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04004	技師 (A)					
	外業	3,000	人	62,600	187,800	
R04005	技師 (B)					
	外業	3,000	人	49,300	147,900	
R04006	技師 (C)					
	外業	3,000	人	42,500	127,500	
	合 計				463,200	算出数量 1,000 式
	単 価		式		463,200	
	*** S単一 25号 ***					
S63007	移動に伴う基準日額(水質観測施設現地調査時)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,0.00人,2.00人,2.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長的人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04004	技師 (A)					
	外業	2,000	人	62,600	125,200	
R04005	技師 (B)					
	外業	2,000	人	49,300	98,600	
R04006	技師 (C)					
	外業	2,000	人	42,500	85,000	
	合 計				308,800	算出数量 1,000 式
	単 価		式		308,800	
	*** S単一 26号 ***					
S63007	移動に伴う基準日額(観測槽現地調査時)		式		1,000 式	歩A 当たり算出

事業名	広域農業基盤整備管理調査				
業務名	諫早湾地区観測槽劣化状況調査設計業務				

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,6.00人,6.00人,6.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長的人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.00人				
	5)技師Bの人数	6.00人				
	6)技師Cの人数	6.00人				
	7)技術員の人数	6.00人				
R04005	技師 (B) 外業	6.000	人	49,300	295,800	
R04006	技師 (C) 外業	6.000	人	42,500	255,000	
R04007	技術員 外業	6.000	人	36,700	220,200	
	合 計				771,000	算出数量 1.000 式
	単 価		式		771,000	
	*** S単一 27号 ***					
S63010	打合せ(設計業務基準日額)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.57日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	日			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種		深夜時間:0.0		
	2)打合せ	着手前・最終				
	3)設計用主任技師人数	1.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	0.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.570日				
R04003	主任技師	1.070	人	70,900	75,863	
R04004	技師 (A)	1.070	人	62,600	66,982	
	合 計				142,845	算出数量 1.000 回
	単 価		回		142,845	
	*** S単一 28号 ***					
S63010	打合せ(設計業務基準日額)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.57日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)設計工種	一般工種		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)打合せ	中間		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)設計用主任技師人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	1.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.570日				
R04004	技師 (A)	1.070	人	62,600	66,982	
R04005	技師 (B)	1.070	人	49,300	52,751	
	合 計				119,733	算出数量 1.000 回
	単 価		回		119,733	
	*** S単一 29号 ***					
S63023	電子納品版業務報告書作成		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	電子納品版業務報告書作成 1,A-4,800,8cm,0			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)報告書部数(部)	1.000		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)規格区分	A-4		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)枚数区分(枚)	800		深夜時間:0.0		
	4)厚さ区分	8cm				
	5)CD-R枚数(枚)	0.000				
P43496	報告書焼付代(コピー) A-4以下 800枚	1.000	部	10,200	10,200	

事業名	広域農業基盤整備管理調査				
業務名	諫早湾地区観測槽劣化状況調査設計業務				

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
P43543	簡易加除式ファイル A 4 縦型幅8cm(チューブ・パイプファイル)	1.000	冊	786	786	
P43602	C D－R C D－R(記録面色素フタロシアニン) 7 0 0 MB	0.000	枚	47	0	
	合 計				10,986	算出数量 1.000 式
	単 価		式		10,986	
	*** S 単一 30号 ***					
S63031	《打合せ（設計旅費・交通費）》		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	《打合せ（設計旅費・交通費）》 一般工種・解析等調査業務,着手前・最終,通勤により打合せ,ライ トバン,1日,4時間			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種・解析等調査業務				
	2)打合せ内容	着手前・最終				
	3)主任技師配置人員	1人				
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	0人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)宿泊区分	通勤により打合せ				
	8)交通機関区分	ライトバン				
	9)高速道路往復料金(税別)	7,110円				
	10)鉄道往復1人当料金(税別)	0円				
	11)バス往復1人当料金(税別)	0円				
	12)船舶往復1人当料金(税別)	0円				
	13)航空往復1人当料金(税別)	0円				
	14)ライトバン使用日数	1日				
	15)時間区分	4時間				
	16)宿泊料金1式当料金(税別)	0円				
	17)宿泊手当1式当料金(税別)	0円				
	18)落札率	0.000000				
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	1.000	式	7,110	7,110	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	1.000	日	2,560	2,560	
P34001	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド	10.800	L	161	1,739	
	合 計				11,409	算出数量 1.000 回
	単 価		回		11,409	
	*** S 単一 31号 ***					
S63031	《打合せ（設計旅費・交通費）》		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	《打合せ（設計旅費・交通費）》 一般工種・解析等調査業務,中間,通勤により打合せ,ライトバン,1 日,4時間			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種・解析等調査業務				
	2)打合せ内容	中間				
	3)主任技師配置人員	0人				
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	1人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)宿泊区分	通勤により打合せ				
	8)交通機関区分	ライトバン				
	9)高速道路往復料金(税別)	7,110円				
	10)鉄道往復1人当料金(税別)	0円				
	11)バス往復1人当料金(税別)	0円				
	12)船舶往復1人当料金(税別)	0円				
	13)航空往復1人当料金(税別)	0円				
	14)ライトバン使用日数	1日				
	15)時間区分	4時間				
	16)宿泊料金1式当料金(税別)	0円				
	17)宿泊手当1式当料金(税別)	0円				
	18)落札率	0.000000				
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	1.000	式	7,110	7,110	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	1.000	日	2,560	2,560	
P34001	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド	10.800	L	161	1,739	
	合 計				11,409	算出数量 1.000 回
	単 価		回		11,409	

九州農政局

九州農政局

事業名	広域農業基盤整備管理調査
業務名	諫早湾地区観測槽劣化状況調査設計業務

コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** T単一 1号 ***					
T00001	開示用成果物作成費		式		1,000	歩A 当たり算出
S02115	技術員	0.500	人	36,700	18,350	S単 11号
P43602	C D-R C D-R(記録面色素フタロシアニン) 700MB	1.000	枚	47	47	
	合 計				18,397	算出数量 1.000 式
	単 価		式		18,397	
	*** T単一 2号 ***					
T00003	室内試験		式		1,000	歩A 当たり算出
P96001	被覆防食材の油分残存率測定	7.000	回	32,600	228,200	
P96002	被覆防食材の強度保持率試験	7.000	回	51,500	360,500	
	合 計				588,700	算出数量 1.000 式
	単 価		式		588,700	
	*** T単一 3号 ***					
T00004	用船使用料(海域)		日		1,000	歩A 当たり算出
P34006	FRP D 70PS型 3.0t 51kW 就業8時間 重油 A重油 海上 硫黄分0.5%以下 h°-ジ°	30.000	L	150.70	4,521	
S02115	高級船員	1.200	人	34,800	41,760	S単 10号
S02111	交通船[FRP製] (運転損料) D 70PS型 3.0GT	1.000	日	3,210	3,210	S単 1号
S02111	交通船[FRP製] (供用損料) D 70PS型 3.0GT	1.650	日	3,360	5,544	S単 2号
	合 計				55,035	算出数量 1.000 日
	単 価		日		55,035	
	*** T単一 4号 ***					
T00005	用船使用料(調整池)		日		1,000	歩A 当たり算出
P34006	鋼 D 30PS型 3.0t 22kW 就業8時間 重油 A重油 海上 硫黄分0.5%以下 h°-ジ°	13.000	L	150.70	1,959	
S02115	高級船員	1.200	人	34,800	41,760	S単 10号
S02111	交通船[鋼製] (運転損料) D 30PS型 3.0GT	1.000	日	2,520	2,520	S単 3号
S02111	交通船[鋼製] (供用損料) D 30PS型 3.0GT	1.650	日	2,590	4,274	S単 4号
	合 計				50,513	算出数量 1.000 日
	単 価		日		50,513	
	*** T単一 5号 ***					
T00006	2-2.詳細現地調査		基		1,000	歩A 基 当たり算出
S02115	技師 (B)	1.000	人	49,300	49,300	S単 5号
S02115	技師 (C)	1.000	人	42,500	42,500	S単 6号
S02115	技術員	1.000	人	36,700	36,700	S単 7号
S02115	潜水土	2.000	人	46,800	93,600	S単 8号

九州農政局

令和 8 年度 広域農業基盤整備管理調査
諫早湾地区観測櫓劣化状況調査設計業務

特別仕様書

農林水産省 九州農政局

北部九州土地改良調査管理事務所

第1章 総 則

(適用範囲)

第1－1条

令和8年度 広域農業基盤整備管理調査 諫早湾地区観測櫓劣化状況調査設計業務の施行にあたっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」(以下「共通仕様書」という。)によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

(目 的)

第1－2条

本業務は、諫早湾干拓事業において設置された各観測櫓の劣化状況について調査を行い、今後の補修及び改修計画の検討を行うためのとりまとめを行う。あわせて、各観測櫓に設置している自動昇降型水質測定施設（以下「水質観測施設」という。）の今後の維持管理を含めた更新計画の検討を行うものである。

(場 所)

第1－3条

業務位置は、長崎県諫早湾内及び諫早湾干拓調整池であり、別添1「図1水質観測施設位置図」に示すとおりである。

(一般事項)

第1－4条

業務請負契約書及び共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

1. 受注者は、作業実施の順序、方法等について監督職員と密接な連絡を取り、作業の円滑な進捗を図るものとする。
2. 作業に従事する技術者は、対象業務に十分な知識と経験を有するものとする。
3. 受注者は常に業務内容を把握し、業務期間中に監督職員が資料の提出を求めた場合は速やかにこれに応じるものとする。

(管理技術者)

第1－5条

管理技術者は、共通仕様書第1－6条第3項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技 術 部 門	選 択 科 目
技術士	総合技術監理	農業－農業土木 農業－農業農村工学 機械－機械設計等 建設－鋼構造及びコンクリート
	農業	農業土木 農業農村工学
	機械	機械設計等

	建設	鋼構造及びコンクリート
博士	当該業務に関連する学術部門	
シビルコンサルティングマネージャ	農業土木	
	鋼構造及びコンクリート	

(担当技術者)

第1-6条

担当技術者は、共通仕様書第1-8条によるものとする。

(配置技術者の確認)

第1-7条

共通仕様書第1-11条における業務組織計画の作成及び同共通仕様書第1-12条に基づく技術者情報の登録に当たっては、次によるものとする。

1. 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。
2. 農業農村整備事業測量調査設計業務実績情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とする。

(保険加入)

第1-8条

受注者は、共通仕様書第1-37条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また、監督職員からの請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

第2章 作業条件

(適用する図書)

第2-1条

設計の基本事項に関しては、次の技術基準等を優先して適用するものとする。なお、他の図書を適用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。

番号	名 称	発行所	制定(改訂)年月
1	水管理制御方式技術指針(計画設計編)	(一社)農業土木機械化協会	令和6年10月
2	電気設備計画設計技術指針(高低圧編)	(一社)農業土木機械化協会	令和元年9月
3	水管理制御設備標準機器仕様書	農林水産省農村振興局設計課	令和7年10月
4	農業水利施設の機能保全の手引き	農林水産省農村振興局 水資源課施設保全管理室	令和5年4月
5	農業水利施設の機能保全の手引き 「電気設備」	農林水産省農村振興局 設計課施工企画調整室	平成25年5月
6	農業水利施設の長寿命化のための手引き		平成27年11月

(設計条件)

第2-2条

設計作業における設計条件は、次のとおりである。

1. 設計基本条件

(1) 一般事項

- 1) 受注者は、本章に示す設計条件等に基づき設備の製造設計を行うものとする。
- 2) 土地改良事業計画設計基準、関係する諸基準及び規格を遵守し、設計条件及び設置条件に対して十分な強度、性能及び機能を有するものとする。
- 3) 本設備は、観測櫓全てに耐震クラス「S 特定」を適用する。
- 4) 水質観測施設の機器については耐久性精度、安全性精度及び維持管理精度を考慮した構造とする。また、運転が確実に操作の容易なものとする。
- 5) 設計、製作、据付に当たって特許等を使用する場合はその詳細を明記するものとする。

(2) 各観測櫓に現在設置している水質観測施設の機能は以下のとおりである。

なお、水質観測施設は可動、通信動作を全て全自動にて連動で行う機能を現在有している。

1) 自動昇降用多項目水質計

① 着水感知機能

塩分センサーにより一定濃度の塩分感知で着水指令を出し、深度センサーのゼロ補正を行う機能。

② 着底確認機能

センサーユニット内に着底確認機能を有し、水質計レバーが着底検知板に達するとウインチ昇降装置に指令を出し、ケーブルを余分に出すことを防ぐ機能。

③ 各層停止機能

着定位置にて最下層(海底上 0.1m)の水質データを取得後、水面より 0.5m 間隔となるよう各観測層水深を算出し、深度センサーの値より、各観測層で停止後水質を測定する機能。

2) ウインチ昇降装置

自動昇降機能: 多項目水質計をセンサー指令により昇降させる機能。

3) 自動保管装置

① バケット移動機能

自動昇降用多項目水質計が上下に昇降し観測を開始・終了する際、バケットが支障とならないよう自動的に移動する機能。

② 水注水・排水機能

海水に浸ったセンサーを保護するためセンサーに付着した塩分や生物を水により洗浄し、観測時以外は空中待機するセンサーを水が注水されたバケット内に収納する機能。なお、バケット内の水は1日1回排水注水させる機能。

③ バブリング機能

DO センサーの精度維持のため、エアーバルブによるバケット内のバブリングにより、DO センサーを校正する機能(1日1回)。

4) データ制御装置

① 各種装置制御機能

各装置へ指令を出す機能。

② 省電力機能

観測時以外は自動で省電力モードになる機能。

③ 全自動機能

自装置内の時計により起動し、計測及び管理棟へのデータ送信を全自動にて行う機能。

なお、センサーがデータを確立するまでに時間を要するため、毎時データは毎正時+20 分頃までに送信できるものとする。

④ 外部出力機能

内蔵メモリへ記録したデータをパソコン等へ出力する機能。

⑤データ送信リトライ機能

通信に異常がありメール送信が一時的に不可能な場合、正常回復後再度未送信データの送付を行う機能。

⑥雷対策機能

雷によるシステム異常を防止。

5) 太陽電池電源装置

太陽電池パネルにより電力供給を行い、蓄電池に充電する機能。

(3) 観測櫓

観測櫓の設置位置は別添位置図のとおりであり、補修履歴は以下のとおりである。

櫓名称	設置位置	設置年月 (経過年数)	補修①年度 (経過年数)	補修②年度 (経過年数)	補修③年度 (経過年数)
B1	調整池	H2.8(35年)	H11(26年)	H11(26年)	H19(18年)
B2	調整池	H2.8(35年)	H11(26年)	H11(26年)	H19(18年)
B3	諫早湾	H2.8(35年)	H9(28年)	H9(28年)	H19(18年)
B4	諫早湾	H2.8(35年)	H9(28年)	H9(28年)	H19(18年)
B5	諫早湾	H2.8(35年)	H9(28年)	H9(28年)	H19(18年)
B6	諫早湾	H2.8(35年)	H9(28年)	H9(28年)	H19(18年)
S1	諫早湾	H2.8(35年)	H13(24年)	H9(28年)	H19(18年)
S6	諫早湾	H2.8(35年)	H13(24年)	H9(28年)	H19(18年)

令和7年度までの経過年数を記載。

補修①:ペトロタムライニング被覆防食Ⅰ型及びⅡ型

補修②:電気防食陽極の更新(耐用年数10年)

調整池(マグネシウム合金陽極)、諫早湾(アルミニウム合金陽極)

補修③:ペトロタムライニング被覆防食の補修、電気防食陽極の更新(耐用年数10年)

上部工(主桁、チャンネル材全面再塗装、床版交換、手すり再設置・再塗装)

階段工(再設置・再塗装)、ユニットハウス再設置等

2. 設計諸元

(1) 環境条件

水質観測施設にかかる機器は、次の標準環境条件において正常に動作している。

機器区分 項目	屋内機器		屋外機器
	中央管理棟機器	観測櫓内設置機器	
温度	5～40℃ 【10～35℃】	非破壊条件: -10～60℃ 動作条件: 0～40℃	-10～40℃
相対湿度	30～80% 【40～80%】	20～90%	30～95% ※防水仕様は各機器 仕様によること
最大流速	—	—	2ノット
最大風速	—	—	30m/s

(注) 1) 温度、相対湿度の条件は、精度保証を示す値である。

2) 中央管理棟機器における【 】の値は、汎用品(光磁気ディスク等)である。

3) 観測櫓内設置機器は、調整池関連施設内に設置するデータ制御装置等である。

4) 屋外機器とは、計測装置等とする。

(2) 機器への供給電源

水質観測施設にかかる機器への供給電源は、次の電源方式、電源仕様としている。

電源方式	電源仕様
交流電源方式	①相数・電圧 : 単相 2 線 100V±10V ②周波数 : 60Hz±3Hz

太陽電池・蓄電池方式	電圧：10.8～13.2V(DC12V)
------------	----------------------

(注) 非常用発電装置の周波数変動±0.1Hz に対しても機器の性能、機能に影響を与えないものとする。

(3)管理対象施設及び管理項目

管理対象施設及び管理項目は、別添 2「管理項目表」のとおりとする。

(4)信号情報受渡し条件

各管理対象設備からの信号情報の受渡し項目は、別添 2「管理項目表」に示すとおりであり、信号受渡し条件は、「デジタル計測信号 水中計測部からの計測信号 RS-485、16 ビット」である。

(5)機器相互のインターフェース

機器相互間のインターフェースは、(3)に示すとおりである。

(6)伝送路回線構成

伝送路回線及び対向方式は次のとおりとする。

伝送区間	伝送路種別	伝送路構成	伝送速度	対向方式
中央管理棟～水質観測施設	携帯電話 データ回線	無線	128kbps	1:1

(7)雷害対策

機器には、JIS 規格、水管理制御方式技術指針(計画設計編)に示す雷害対策を行っている。

(8)停電復電時の起動方式

交流電源が通常の停電から復旧したとき、各機器とも人手を介さず自動的に再起動している。

3. 設計上の留意点

本業務の設計に当たっては、関係する諸基準、規格を遵守し、一般機能条件、設置条件及びシステムの機能に即応した安全、確実な設備を設計するものとする。

(1)水質観測施設を構成する機器についての一般機能条件は、次のとおりである。

- 1) 各装置は、信頼度の高い良好な部品材料を用いると共に、構成はできるだけ単純化し、信頼性の向上に努めるものとする。
- 2) 各装置に使用する機器及び部品については、製造中止後 10 年の保有期間を有する機器・部品又は同等品の機器・部品として供給が図れるものとする。
- 3) 装置は適切なシステム構成により、容易、正確、かつ安定した動作となるような設計に努めるものとする。なお、通信は、最新の通信可能な方法となるような設計に努めるものとする。
- 4) 維持保守が容易に行えるよう、可能な限り装置の構成をブロック化し、互換性を図るものとする。
- 5) 各装置に使用する機器及び部品については、極力汎用品を使用するものとする。
- 6) 直射日光および潮風・雨に対し装置の動作に支障をきたさないよう配慮するものとする。

(2)水質観測施設を構成する機器についての設備設計の基本事項は、次のとおりとする。

- 1) 要求された機能を与えられた条件のもとで確実に行えること。
- 2) 操作が簡単で使いやすいこと。
- 3) 定期点検が容易に行えるようにすること。
- 4) 一部の故障が設備全体の機能に影響しないこと。
- 5) 故障箇所の発見が容易で、修復が簡単に行えること。
- 6) 機器の部分更新が容易に行えること。
- 7) 連続稼働ができる機器を使用すること。
- 8) 設置環境に対して十分な耐久性を有する構造であること。

(参考図書)

第2－3条

設計の基本事項に関しては、次の技術基準等を優先して適用するものとする。なお、他の図書を適用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。

名 称	発行所	制定(改訂)年月
設計便覧(案)第4編電気・通信編	近畿地方整備局	平成 24 年 4 月
配電盤・制御盤の耐震設計指針(JEM-TR144)	(一社)日本電機工業会	平成 29 年 3 月
建築設備耐震設計・施工指針	(一社)日本建築センター	平成 26 年 9 月
建築電気設備の耐震設計・施工マニュアル	(一社)日本電設工業会 (一社)電気設備学会	平成 28 年 1 月
電気通信施設設計要領・同解説(電気編)	(一社)建設電機技術協会	平成 29 年 3 月
電気通信施設設計要領・同解説(通信編)	(一社)建設電機技術協会	令和5年 3 月

(貸与資料等)

第2-4条

貸与資料は次のとおりである。

番号	分類	貸与資料	数量
1	業 務 報 告 書	平成 30 年度 国営造成土地改良施設防災情報ネットワーク事業 諫早湾地区排水門付帯設備等整備検討業務 報告書	1式
2		令和2年度 諫早湾地区水質観測施設設計業務 報告書	1式
3		令和7年度 観測槽劣化調査業務 報告書	1式
4		令和7年度 水質観測施設保守点検(堤防周辺)業務 報告書	1式
5		令和7年度 水質観測施設保守点検(諫早湾)業務 報告書	1式
6		令和7年度 諫早湾水質自動観測データ管理業務 報告書	1式
7	そ の 他	令和2年度 諫早湾地区水質観測施設製作据付工事 完成図書	1式
8		その他、参考となる資料等	1式

(参考図書及び貸与資料の取扱)

第2-5条

第2-3条及び第2-4条に示す参考図書及び貸与資料の取扱いは次のとおりとする。

1. 参考図書及び貸与資料の記載事項に相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
2. 参考図書は、設計作業時点の最新版を用い設計作業中に改訂された場合は、監督職員と協議するものとする。
3. 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか完了検査時に一括返納しなければならない。

第3章 作業内容

(作業項目及び数量)

第3-1条

本業務における作業項目及び数量は、次の作業項目表のとおりである。

なお、詳細は別紙1、2及び別紙3. 作業項目内訳表に示すものとする。

【表1 設計作業(水質観測施設)】

作 業 項 目	数 量	備 考
1. 準備作業		
1-1. 作業計画の作成	1式	

1－2. 資料の検討	1式	
2. 劣化状況調査		
2－1. 劣化状況調査計画書の作成	1式	
2－2. 劣化状況調査(目視調査)	8箇所	
2－3. 現地調査結果整理・考察	1式	
3. 水質観測方法・体制の検討		
3－1. 事例収集、情報整理	1式	
3－2. 基本事項の検討	1式	
4. 数量計算	1式	
5. 施工計画	1式	
6. 概算工事費算定	1式	
7. 点検取りまとめ	1式	

【表2 設計作業(観測櫓)】

作 業 項 目	数 量	備 考
1. 準備作業		
1－1. 作業計画の作成	1式	
1－2. 資料の検討	1式	
2. 劣化状況調査		
2－1. 劣化状況調査計画書の作成	1式	
2－2. 詳細現地調査(表3参照)	7箇所	
2－3. 現地調査結果整理・考察	1式	
3. 点検取りまとめ	1式	

【表3 詳細現地調査 作業項目】

作 業 項 目	数 量	備 考
1. 詳細現地調査作業		
1－1. 観測櫓構造物及び水質観測施設の目視調査	7箇所	
1－2. 被覆防食工目視調査	7箇所	
1－3. 鋼管杭の電位測定	7箇所	
1－4. 陽極消耗調査	5箇所	
1－5. 鋼管杭肉厚測定	7箇所	
1－6. 被覆防食工開放目視調査	7箇所	
1－7. 被覆防食材の油分残存率測定	7箇所	
1－8. 被覆防食材の強度保持率試験	7箇所	

(設計作業の留意点)

第3－2条

設計作業の実施に際し特に留意する点は、以下のとおりである。

1. 水質観測施設の機器について

(1) 機器の更新において、現状の機器の単純更新ではなく、他機関・他地区の事例収集・整理等の作業を行い、設置及び維持管理を含めて経済的に安価かつ安全性を重視した観測方法の検討を行う。

(2) 観測櫓を撤去した場合の観測方法についても、(1)にあわせて別途検討を行う。

2. 観測櫓について

(1) 現地調査において、観測櫓毎の状況を把握した後、各々の観測櫓に応じた劣化状況についてとりまとめを行う。

(2) 劣化状況に応じて、経済的に安価かつ効果的な補強対策を検討する。その場合、他機関・他地区の事例収集・整理等を行い、補強対策工法を検討するものとする。

(3) 状況により観測櫓の補強若しくは撤去の検討が必要になった場合には、別途監督職員と別途協議を行う。

3. 設計に当たっては、造成される施設が必要な機能及び安全で所要の耐久性を有するとともに維持管理、施工性及び経済性について考慮しなければならない。

4. 電算機を使用する場合は、計算手法及びアウトプット等の様式について事前に監督職員の承諾を得るものとする。

5. 第2-3条、第2-4条及び共通仕様書に示す参考図書、貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。

6. 当該業務で実施するコスト縮減対策の検討作業に関し、検討の視点、施策の提案内容及び比較検討の過程や結果等の成果については、報告書に「コスト縮減対策」の章を別途設定し、取りまとめるものとする。なお、コスト縮減に関する新技術や新工法等の選定に当たっては、農業農村整備民間技術情報データベース(NNTD)及び新技術情報システム(NETIS)等を積極的に活用しなければならない。

- ・ 農業農村整備民間技術情報データベース(NNTD)については、<https://nn-techinfo.jp/> を参照。

- ・ 農業水利施設保全補修ガイドブック 2024 については、<https://www.jagree.or.jp/publication/books/no9/>を参照。

- ・ 新技術情報システム(NETIS)については、<https://www.netis.mlit.go.jp/NETIS> を参照。

7. 数量計算に当たっては、「工事工種の体系化」に基づき作成するものとする。

なお、「工事工種の体系化」に該当しない工種や用語については、監督職員と協議するものとする。

- ・ 「工事工種の体系化」は、https://www.maff.go.jp/j/nousin/seko/kouzi_kousyu/ を参照。

(業務写真における黒板情報の電子化)

第3-3条

黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に業務写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化及び写真整理の効率化を図るものである。

受注者は、業務契約後に監督職員の承諾を得たうえで黒板情報の電子化を行うことができる。黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の1から4によりこれを実施するものとする。

1. 使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等(以下「機器等」という。)は、電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC 暗号リスト)」(URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」)に記載する基準を用いた信憑性確認機能(改ざん検知機能)を有するものを使用するものとする。

2. 機器等の導入

(1) 黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。

(2) 受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

3. 黒板情報の電子的記入に関する取扱い

- (1) 受注者は、(1)の機器等を用いて業務写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。
- (2) 本業務の業務写真の取扱いは、「電子化写真データの作成要領(案)」によるものとする。なお、上記(1)に示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領(案)6 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。
- (3) 黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

4. 写真の納品

受注者は、3に示す黒板情報の電子化を行った写真を、業務完了時に発注者へ納品するものとする。なお、受注者は納品時に URL(https://dcpadv.jcomsia.org/photofinder/pac_auth.php) のチェックシステム(信憑性チェックツール) 又はチェックシステム(信憑性チェックツール)を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

5. 費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、直接経費に含まれる。

第4章 打合せ

(打合せ)

第4-1条

共通仕様書第1-10条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。

また、初回及び最終回の打合せには管理技術者が出席するものとする。

初 回 設計作業着手の段階

第2回 中間打合せ(調査計画検討段階)

第3回 中間打合せ(詳細現地調査結果とりまとめ段階)

最終回 報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

打合せ方法については、対面方式からWeb方式に変更する場合がある。

第5章 成 果 物

(成 果 物)

第5-1条

成果物を設計業務共通仕様書第1-17条及び「設計業務等の電子納品要領(案)機械設備工事編」に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

1. 成果物の電子媒体(CD-R等)正副2部
2. 成果物の出力1部(電子媒体の出力、市販のファイル綴じで可)

(開示用成果物の作成及び提出)

第5-2条

第5-1条に記載している成果物(PDF ファイル)に含まれる、行政機関の保有する情報の公開に関する法律における「不開示情報」に該当する情報について、システムの編集機能により、その箇所を黒塗りにする措置を行い提出しなければならない。

1. 開示用成果物の電子媒体(CD-R 等)1部

(成果物の提出先)

第5-3条

成果物の提出先は、次のとおりとする。

長崎県諫早市高来町金崎字浜ノ道149-6

九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所 環境調整課

第6章 契約変更

(契約変更)

第6-1条

業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

1. 第2-2条に示す「設計条件」に変更が生じた場合
2. 第3-1条に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合
3. 第4-1条に示す「打合せ」に変更が生じた場合
4. 第5-1条に示す「成果物」に変更が生じた場合
5. 履行期間の変更が生じた場合
6. 関係機関等対外的協議により設計計画等に変更が生じた場合
7. その他

(業務スライドの試行)

第6-2条

1. 本業務は、「建設コンサルタント業務等における賃金等の変動に基づく業務費の変更の取扱いについて(試行)」(令和7年12月17日付け7農振第2167号農村振興局整備部設計課長通知)(URL「<https://www.maff.go.jp/j/nousin/sekkei/attach/pdf/index-256.pdf>」)に基づく試行業務である。
2. 発注者又は受注者は、履行期間内で業務契約締結の日から12月を経過した後に日本国内における賃金水準又は物価水準の変動により業務費が不適当となったと認めたときは、相手方に対して業務費の変更を請求することができる。
3. 発注者又は受注者は、2の規定による請求があったときは、変動前残業務費(業務費から当該請求時の履行済部分に相応する業務費を控除した額をいう。以下この条において同じ。)と変動後残業務費(変動後の賃金又は物価を基礎として算出した変動前残業務費に相応する額をいう。以下この条において同じ。)との差額のうち変動前残業務費の1000分の15を超える額につき、業務費

の変更に応じなければならない。

4. 変動前残業務費及び変動後残業務費は、請求のあった日を基準とし、物価指数等に基づき発注者と受注者とが協議して定める。

ただし、協議開始の日から14日以内に協議が整わない場合にあっては、発注者が定め、受注者に通知する。

5. 2の規定による請求は、この条の規定により業務費の変更を行った後再度行うことができる。この場合において、2中「業務契約締結の日」とあるのは、「直前のこの条に基づく業務費変更の基準とした日」とするものとする。

6. 予期することのできない特別の事情により、履行期間内に日本国内において急激なインフレーション又はデフレーションを生じ、業務費が著しく不適當となったときは、発注者又は受注者は、2～5の定めにかかわらず、業務費の変更を請求することができる。

7. 6の場合において、業務費の変更額については、発注者と受注者とが協議して定める。

ただし、協議開始の日から14日以内に協議が整わない場合にあっては、発注者が定め、受注者に通知する。

8. 4及び7の協議開始の日については、発注者が受注者の意見を聴いて定め、受注者に通知しなければならない。

ただし、発注者が2、6の請求を行った日又は受けた日から7日以内に協議開始の日を通知しない場合には、受注者は、協議開始の日を定め、発注者に通知することができる。

9. 業務スライドの試行に係る運用については、1に記載の通知に基づくものとする。

第7章 定めなき事項

(定めなき事項)

第7－1条

この特別仕様書に定めなき事項または本業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

【別紙1 作業項目内訳表（水質観測施設）】

作 業 項 目	作 業 内 容	数 量
1. 準備作業		
1-1. 作業計画の作成	業務内容を把握し、作業計画書を作成する。	1式
1-2. 資料の検討	既存設計資料及び補修工事完成図書に基づき各槽水質観測施設の補修履歴、残耐用年数、機器仕様、課題を把握する。	1式
2. 劣化状況調査		
2-1. 劣化状況調査計画書の作成	調査計画書を作成する。	1式
2-2. 劣化状況調査（目視調査）	資料の検討結果により得られた情報をもとに現地にて修理・交換の必要な機器及び部品の確認、参考耐用年数を超過した機器の確認を行う。	8箇所 (B1～B6, S1,S6)
2-3. 現地調査結果整理・考察	各槽水質観測施設の劣化状況調査の結果をまとめ、考察する。	1式
3. 水質観測方法・体制の検討		
3-1. 事例収集、情報整理	他機関・他地区の観測事例について情報収集し、得られた情報を整理する。	1式
3-2. 基本事項の検討	劣化状況調査結果、事例収集結果に基づき本施設の課題に対処できる、より低コスト・早期復旧可能な水質観測方法・体制を検討・決定する。 なお、従来公表している観測項目を原則維持する。	1式
4. 数量計算	補修設計に基づき、撤去数量、補修数量を算出する。	1式
5. 施工計画	補修槽水質観測施設について、補修工事の施工計画を樹立するとともに、工事工程計画を作成する。	1式
6. 概算工事費算定	概算工事費を算定する。 なお、観測費用及び維持管理費についても概算費用を算定する。	1式
7. 点検取りまとめ	各設計項目の点検、取りまとめ及び報告書の作成を行う。	1式

【別紙2 作業項目内訳表（観測櫓）】

作 業 項 目	作 業 内 容	数 量
1. 準備作業		
1－1. 作業計画の作成	業務内容を把握し、作業計画書を作成する。	1式
1－2. 資料の検討	既存設計資料及び補修工事完成図書に基づき各櫓の補修履歴、残耐用年数を把握する。	1式
2. 劣化状況調査		
2－1. 劣化状況調査 計画書の作成	調査計画書を作成する。	1式
2－2. 詳細現地調査	詳細調査の調査方法を検討・決定し、別紙3のとおり、詳細調査を実施する。	7箇所 (B1～B6, S1,S6) (B3を除く)
2－3. 現地調査結果 整理・考察	各櫓の劣化状況調査の結果をまとめ、考察する。	1式
3. 点検取りまとめ	各設計項目の点検、取りまとめ及び報告書の作成を行う。	1式

【別紙3 詳細現地調査(別紙2 2-2)の作業項目内訳表(観測櫓)】

作 業 項 目	作 業 内 容	数 量
1. 詳細現地調査作業		
1-1. 橋構造物及び水質観測施設の目視調査	①レグ材とプレス材の腐食発生状態等を把握する。 ②上部工の H 鋼、溝形鋼、網板、平鋼、丸鋼、エキスパンドメタル、床用鋼板及びボルト等の腐食劣化状況を把握する。 ③階段・手摺の腐食劣化状況を把握する。 ④ユニットハウスの劣化状況を把握する。 ⑤上記①～④の調査写真撮影を行う。	7箇所 (B1～B6,S1,S6) (B3を除く) (目視可能な範囲)
1-2. 被覆防食工目視調査	観測櫓の被覆防食工の目視調査を行う。	7箇所 (B1～B6,S1,S6) (B3を除く) (目視可能な範囲)
1-3. 鋼管杭の電位測定	高抵抗電圧計の一の端子に照合電極を、 +の端子に電位測定装置をつなぎ、照合電極を海水中に下ろしメーターの指示値を読みとる。 電位測定は水面、中間、海底で実施する。	7箇所 (B1～B6,S1,S6) (B3を除く)
1-4. 陽極消耗調査	潜水土により、鋼管杭に設置されている陽極の形状をメジャー等を用いて計測する。計測された値より、既設陽極の残寿命の算出を行う。 陽極消耗量の確認は、水中で陽極表面の付着物をスクレーパー等の手工具およびエアール工具を使用して除去後、陽極の周長・長さを計測して算出する。	1本×5箇所 (B4,B5,B6,S1,S6) (B1,B2の陽極は、池底に埋没しているため調査不可、B3はR7調査済)
1-5. 鋼管杭肉厚測定	被覆防食(ペトロラタムライニング)を切り欠いた鋼管を対象に肉厚測定調査を実施する。	(1本×2面=2面) ×7箇所 (B1～B6,S1,S6) (B3を除く)
1-6. 被覆防食工開放目視調査	被覆カバーを撤去後、ペトロラタムテープを切り取り、内部鋼材の防食状態を目視で確認する。その後、切り取り後の補修を行い、元通りに戻す。	(0.25m×0.4m×2面) ×7箇所 (B1～B6,S1,S6) (B3を除く)
1-7. 被覆防食材の油分残存率測定	被覆防食工開放目視調査で切り取ったテープサンプルの油分残存率を計測する。	2箇所×7箇所 (B1～B6,S1,S6) (B3を除く)
1-8. 被覆防食材の強度保持率試験	開放点検を実施した際に撤去した被覆カバー(FRP 製)について、強度保持率(引張強度、曲げ強度)を試験する。	2箇所×7箇所 (B1～B6,S1,S6) (B3を除く)

※ 諫早湾側観測櫓 B3,B4,B5,B6,S1,S6 (B3については令和7年度に調査済)

調整池側観測櫓 B1,B2

図1 水質観測施設位置図

